

# コンビネーション332号

局後は相手にきちんと敬意を！

函館チェスサークル・インターネット通信

2016年 9月29日 発行



日本チーム（左手前が山田弘平）小島ブログより

♟️  
 ≪バクー・チェス・オリンピック特集2≫  
 オリンピアドで日本は68位の大健闘！

♟️  
 オリンピアド特集の第2回です。

リーグはオープンと女子の2部あります。（オープンになっているのは女子も参加可能の意味。これは過去にユデット・ポルガーという史上最強の女子プレイヤーが男子の部に参加したため）原則1国1チームですが開催国だけは3軍まで参加できます。事実上160カ国が参加する大会であり、普通のゲーム国際大会と格がちがう大会です。

オープン・セクションではエントリーした180チーム中、日本男子チームは97位スタート。それが最終順位で日本は68位の大躍進でした！

♟️  
**山田弘平 FIDE マスターの称号を獲得**

♟️  
 チェス教室函館の顧問、山田弘平は9戦して5勝

2分2敗の好成績をたたき出し、チームに大きく貢献しました。さらに勝率65%を超えたことで見事FIDE マスターの称号を獲得という大きなおまけもつきました！

FIDE マスターとは略してFM。囲碁将棋でいう若手プロかどうかの格があります。ちなみにその上がIM（インターナショナル・マスター）とGM（グランド・マスター）があり、それぞれプロ強豪並み、タイトルホルダー並みという称号があります。いずれも獲得は難しい！

日本においては、IMが小島慎也、南條僚介、Dラモス（フィリピンから帰化）の3名、FMが羽生善治、Lシュミット、上杉晋作、渡辺竜、Bサイモン、中郡圭樹の6名というのが公式記録です。（敬称略）他にCM（マスター候補）が山田弘平含めて6名います。

南條さんはFMを取っていないので山田弘平は史上8人目のようです。マスターになることはプレイヤーの夢のひとつ。みなさんもどうせチェスをするならそこまで考えて欲しいと思います。

♟️  
**いつかは日本代表になることを前提に**

♟️  
 次は女子の部。エントリー160チーム中、日本女子チームは96位スタートの96位、期待どおりの実力を発揮した大会だったといえるでしょう。

女子も星野さんがWFM、福谷さんがWCMを取りました。

チームに選ばれるのは国内でたった5人。確かにやさしいことではありませんが、決して不可能ではありません。生徒のみなさんがいつか日本代表になることを前提にという気持ちは常にもって指導に当たりたいと思っています。

♟️  
**優勝はトップエリートの若者集団USA**

♟️  
 大会の上位チームは今のチェス界でどこがリードしているのかを反映します。昔は「ロシア＝チェス世界1」でした。しかし今はチェスが世界中に普及しているのでその図式はとっくに変わっています。強豪国の乱立状態といっていいいでしょう。



すし、プロでもときどき採用します。

なお、ドラゴンという名前の由来はうねっている黒ポーンの形から来たそうです。

### 『フィアンケットは良い形』

6. B e 3      B g 7  
7. f 3      N c 6  
8. Q d 2      O-O  
9. B c 4 (図 1.2)

図 1.2



ここまで両者ほとんど一本道。

白 9.0-0-0 も普通感覚ですが、その場合は黒に、9...d5! という定番のセンター・アタックがあります。

以下、黒のカウンター・アタックをぜひ並べてみてください。長い変化ですが、ほとんど一本道であり、非常に参考になります。

- 10.exd5 Nxd5 11.Nxc6 bxc6 12.Nxd5 cxd5  
13.Qxd5 Qc7 !! (参考図 1)

参考図 1



一見、黒はポーンダウンでピンチに見えますが、ルークただ捨てる 13...Qc7 がねらいの一手

です。白は当然ルークを取る一手でしょうが、・・・

- 14.Qxa1 Bf5!

Qxc2 のメイトとクイーン取りのダブルアタックになりました。白はクイーンを切る手しかありません!

15.Qxf8+ Kxf8 16.Rd2 Qb8 17.b3 e6! この手が大切で、そうでないといつでも白から Rd8# のメイトが残ります。

18.Bc4 Qe5! 19.Bd4 Qa5 20.Bxg7 Kxg7 21.a4? Qc3! (参考図 2) 黒の勝ち。Qa1+の受けがありません!

参考図 2



途中、白の最善の受けは 21.Re2 でした。確かに評価は互角なのですが、実戦では受ける方が攻めるより難しいことを考えると黒には有利な変化でしょう。

さて、本譜の図 1.2 にもどります。

9. ...      B d 7  
10. h 4      h 5  
11. O-O-O      R c 8  
12. B b 3      N e 5

図 1.3



ここまでの現在でも定跡となっている形です。ここからは白も黒もそれぞれ相手のキング目指して攻めを開始。やや白よしなのですが、誰が先にメイトするかという激しい戦いに入ります。(ここまで暗記が宿題)

**13. Bh6? Bxh6!**

13.Bh6 はフィアンケットのビショップを交換する普通の攻めで、決して悪くない手ですが、Bxh6 1 から黒が猛攻する順が発見されてからは評価が変わりました。そのきっかけがこのゲームです。

現在では 13.Rhe1、13.Kb1 13.Bg5 がよしとされている変化です。

**14. Qxh6 Rxc3!!**

このエクスチェンジ・サクリファイス (わざとルークとナイト、ビショップを交換して攻める戦法) がいつでもドラゴンのねらいです!

普通、この交換ではダブル・ポーンになっても全然釣り合わないのでやめた方がいい手です。しかし、本譜の場合、白のキングを守るポーンがダブルで悪形になっていて、黒のc筋がセミ・オープンしているため成立します。

このあと白も必死に守るのですが、黒の攻めが止まりません。

**『ダブル・ポーンは悪形』**

- 15. bxc3 Qa5
- 16. Qe3 Rc8
- 17. Kb2 Qb6!
- 18. Ka1 Qc5!
- 19. g4 a5!
- 20. gxh5 Nxh5
- 21. Qh6 a4
- 22. Bxf7+ (図1.4)

図 1.4



黒の攻めが一段落したので、今後は白が反撃しました。しかし、ポーンに囲まれたキングは意外にかたいのです。紙一重でかわす黒のワザを見てください。

- 22. ... Kxf7
- 23. Qh7+ Ng7
- 24. Ne2 Qc4
- 25. h5 Be6
- 26. hxg6+ Nxg6
- 27. Kb1 Rh8!
- 28. Qxg6+ Kxg6
- 29. Rdg1+ Kf7
- 30. Rxh8 Qb5+!
- 31. Kc1 Qxe2

クイーン・トラップで勝負あり!

**0-1 プリチェット対ソルティス 1970**

白31手でリザインしました。ドラゴンのおそろしさがすべて現れた黒番ソルティスの名局です。

ψ ψ

**完全暗記が今週の宿題**

ψ ψ

このゲーム、図1. 3 (白ややよし) までのI 2手を完全暗記! これが今週の宿題です。テストしますからね(^)/

白、黒両方で指せるようにしましょうね!